

くらしきハーモニープラン ～第二次倉敷市男女共同参画基本計画～ 評価指標と目標値＜達成状況＞

※男女共同参画アンケートは5年毎に実施

基本目標	重点目標	評価指標	基準値 (H21)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H27)
I 男女平等と共同参画の意識をもつ	1 あらゆる場における男女平等と共同参画の意識づくり	家庭の中で、男女が平等になっていると思う人の割合 <男女共同参画アンケート>	39.0%	42.8%		50%
		地域の中で、男女が平等になっていると思う人の割合<男女共同参画アンケート>	19.2%	17.6%		25%
		「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合<市民アンケート>	35.5%	42.7%	43.9%	45%
		「男女共同参画フォーラム」参加者数の男性の割合 <男女共同参画フォーラム実績>	13.0%	8.9%	— ※1	20%
		「倉敷市男女共同参画基本計画」について、名称、内容ともに知っている事業所の割合<男女共同参画アンケート>	—	11.4%		30%
		企業内人権研修への参加人数(年間) <企業内人権研修実績>	1,434人	1,337人	1,326人	1,560人
		家庭教育学級参加者数 <生涯学習課実績>	7,882人	13,429人	14,142人	9,000人
	2 男女平等と共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し	慣習・しきたりで、男女が平等になっていると思う人の割合 <男女共同参画アンケート>	10.4%	8.8%		13%
		社会制度や慣行についての啓発講座の開催回数(累計)<男女共同参画課実績>	—	20回 (H23～26累計)	24回 (H23～27累計)	10回 (H23～27累計)
	3 男女平等と共同参画に関する調査・研究の推進と広報の充実	—	—	—	—	—
II あらゆる分野へ男女がともに参画する	4 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	自分や家庭の事情に合わせた働き方ができていると思っている人の割合 <市民アンケート>	65.0%	65.9%	71.6%	71%
		一日(平日)の平均の労働時間が10時間以上の男性の割合 <男女共同参画アンケート>	24.4%	19.9%		23%
		現実の生活が「仕事と家庭とプライベートが調和している」と思っている人(男性)の割合<男女共同参画アンケート>	16.1%	15.0%		22%
		現実の生活が「仕事と家庭とプライベートが調和している」と思っている人(女性)の割合<男女共同参画アンケート>	13.0%	11.8%		18%
		「ワーク・ライフ・バランス」について、言葉、内容ともに知っていて、既に取り組んでいる(または取り組む予定)事業所の割合 <男女共同参画アンケート>	6.0%	2.9%		11%
	5 家庭、学校等、地域社会における男女共同参画の促進	男女共同参画推進センター登録団体数 <男女共同参画推進センター実績>	28団体	32団体	32団体	35団体
		町内会をはじめコミュニティのなかで、行事や団体活動に最低年3回以上は参加している人の割合 <市民アンケート>	39.9%	38.4%	40.4%	51%
		いろいろな年齢の人たちが参加・連携して、地域の活動を行っていると感じている人の割合<市民アンケート>	28.5%	24.7%	29.2%	42%
		子育てを家族で協力して行っている人の割合 <倉敷市次世代育成支援後期行動計画アンケート>	84.5%	84.3%	83.3%	89%
		外国人や異なる文化を受け入れるよう心掛けている人の割合<市民アンケート>	46.0%	39.8%	39.8%	57%

くらしきハーモニープラン ～第二次倉敷市男女共同参画基本計画～ 評価指標と目標値＜達成状況＞

※男女共同参画アンケートは5年毎に実施

基本目標	重点目標	評価指標	基準値 (H21)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H27)	
Ⅱ あらゆる分野へ男女がともに参画する	6 働く場における男女共同参画の促進	ポジティブ・アクションに取り組んでいる事業所の割合<男女共同参画アンケート>	28.0%	28.6%		33%	
		働いている職場が、子育てに対する理解があると思っている人の割合<市民アンケート>	57.5%	53.5%	59.5%	72%	
		これまで育児休業を取得したことがある人の割合(就学前児童の父親)<市民アンケート>	6.3%	5.2%	7.5%	10%	
		これまで育児休業を取得したことがある人の割合(就学前児童の母親)<市民アンケート>	81.9%	77.4%	78.6%	85%	
		インキュベーション施設(起業家支援センター)延べ入居社数<商工課実績>	13社	38社	41社	40社	
		市職員の女性管理職比率<人事課実績>	20.1% (H22.4)	23.02% (H27.4)	23.28% (H28.4)	23% (H28.4)	
		認定農業者数(うち女性の数)<農林水産課実績>	18人	18人	17人	22人	
		市の男性職員の育児休業、部分休業、育児時間(特別休暇)を併せた合計取得率(倉敷市次世代育成支援特定事業主行動計画)<人事課実績>	0.4%	2.7% (H25)	2.9% (H26)	5% (H26)	
	7 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	市の審議会等の女性委員比率(地方自治法第202条の3に基づく審議会等のうち広域除く)<企画経営室・男女共同参画課の調査実績>	27.7% (H22)	29.6% (H27)	29.3% (H28)	40%	
		女性委員のいない審議会等の数(地方自治法第202条の3に基づく審議会等のうち広域除く)<企画経営室・男女共同参画課の調査実績>	8 (H22.5)	9 (H27)	8 (H28)	5	
		地域リーダー養成講座(男女共同参画セミナー)修了者数(累計)<男女共同参画課実績>	156人 (H13～21累計)	267人 (H13～26累計)	267人 (H13～27累計)	230人 (H13～27累計)	
		男女共同参画人材バンク登録者数(累計)<男女共同参画課実績>	57人 (H13～21累計)	101人 (H13～26累計)	101人 (H13～27累計)	93人 (H13～27累計)	
		8 男女平等の視点に立った人権の尊重	日々の生活の中で、身の回りの人権が大切にされていると思う人の割合<市民アンケート>	46.9%	50.6%	49.6%	60%
			セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある女性の割合<男女共同参画アンケート>	17.4%	13.9%		16%
Ⅲ 男女がお互いに人権を尊重する	9 男女間のあらゆる暴力の根絶と被害者支援	DVIに関する講座等の受講者数(累計)<男女共同参画課、センター実績>	45人	722人 (H21～26累計)	788人 (H21～27累計)	300人 (H21～27累計)	
		DV被害者サポーター登録者数<岡山県への登録者のうち倉敷市での活動を希望する人数>	18人 (H22)	17人	13人	36人	
		「DVを受けたことがある」と答えた人(女性)の割合<男女共同参画アンケート>	11.0%	8.9%		10%	
		DV被害者で、相談したことがある人のうち、公の相談窓口へ相談したと答えた人<男女共同参画アンケート>	21.9% (32人中7人)	32.1% (28人中9人)		30%	

くらしきハーモニープラン ～第二次倉敷市男女共同参画基本計画～ 評価指標と目標値＜達成状況＞

※男女共同参画アンケートは5年毎に実施

基本目標	重点目標	評価指標	基準値 (H21)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	目標値 (H27)
IV 男女共同参画のための生活環境を整える	10 子育てのための支援体制の充実	特別保育(延長, 休日, 一時保育)延べ実施園数 ＜倉敷市次世代育成支援行動計画後期・保育課実績＞	93園	105園	102園	99園
		保育所の待機児童数 ＜保育課実績＞	41人	28人	180人 ※2	8人
		放課後児童クラブ設置延べ数(受入児童数) ＜子育て支援課実績＞	72クラブ (3,323人)	88クラブ (4,031人)	119 ※3 支援の単位 (4,283人)	85クラブ
		ファミリー・サポート・センターの会員数 ＜子育て支援課実績＞	1,510人	2,224人	2,342人	1,700人
		地域子育て支援センター・つどいの広場の延べ利用者数(年間) ＜子育て支援課実績＞	99,765人	172,639人	159,706人	136,000人
		合計特殊出生率(倉敷市) ※4 ＜保健衛生年報＞	1.54人 (H20)	1.61人 (H25)	1.63人 (H26)	1.55人
	11 介護のための支援体制の充実	必要な介護サービスが受けられていると思っている人の割合(家族に対して) ＜市民アンケート＞	77.6%	81.0% (H26)	— ※2年に1回の調査	80%
		認知症サポーター養成講座の修了者数(累計)＜地域包括ケア推進室＞	4,894人 (H20～21累計)	15,761人 (H20～26累計)	18,810人 (H20～27累計)	17,000人 (H20～27累計)
	12 生涯にわたる心と体の健康づくり	乳がん検診受診率(市検診対象者に対する率) ＜保健衛生年報＞	16.8%	22.6%	24.6%	25%
		子宮がん検診受診率(市検診対象者に対する率) ＜保健衛生年報＞	16.4%	20.8%	21.2%	25%
		心と体の健康講座の受講生数 ＜男女共同参画課・センター実績＞	54人 (H22)	138人 (H22～26累計)	171人 (H22～27累計)	300人 (H22～27累計)
	13 生活困難を抱える人々への支援	町内会をはじめコミュニティの中で、困っているときに相談したり助けてもらえる人がいると思っている人の割合 ＜市民アンケート＞	41.6%	45.2%	50.2%	54%
		身近で相談できる人がいると思っている高齢者の割合 ＜市民アンケート＞	72.2%	77.7%	77.2%	80%
		現在の収入で安心して暮らしていると答えた高齢者の割合 ＜市民アンケート＞	17.1%	23.4%	26.7%	33%

※1 日本女性会議2015倉敷開催のため、男女共同参画フォーラムは実施されなかった。なお、女性会議の参加者(全国から2,112人)のうち男性の割合は、10.9%であった。

※2 待機児童の定義が変更となり求職活動理由での児童数を計上したため、一時的に待機児童数が増加したが、実質的な待機児童数(旧定義での待機児童数)は11人と減少している。

※3 H27年度の条例施行に基づき、児童クラブの基本単位が70名までの「クラブ」から40名までの「支援の単位」に変更

※4 合計特殊出生率…人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子どもの平均数